

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2013.07.No191

7月号

## 目次

第38回 一般社団法人北海道建築士会全道大会(恵庭大会)へ“全員集合!”	1
実行委員会報告	5
〔地域貢献活動センター・総務・事業〕	
青年・女性の窓	6
〔青年委員会〕	
支部だより	7
〔北広島・苫小牧・中標津〕	
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

## 第38回 一般社団法人北海道建築士会全道大会(恵庭大会)へ “全員集合!”

- 大会テーマ 「庭屋一如 (ていおくいちによ)」
- サブテーマ 花のまち 恵みの庭で…



第38回 一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長

一般社団法人北海道建築士会恵庭支部 支部長 水間 幸彦

第38回 北海道建築士会全道大会は、恵庭市で開催されることになりました。

地域経済は、依然として厳しい状況にあり、会員の考え方も多様化している中で建築士会の活動を今後とも継続して行くためにも、この大会の準備や会合等を通じて若い会員が積極的に取り組むなど今後の恵庭支部の新しい基盤づくりと捉えるとともに、恵庭支部の設立50周年の節目に併せて全道大会がここ恵庭で開催されますことは誠に喜ばしい限りであります。

この大会を通して、全道の建築士の研修や交流はもちろんのこと、私達建築士が社会へ関わることにしても大いにアピールして参りたいと考えております。

恵庭市は、札幌市と千歳市とのほぼ中央に位置しており、恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土をもつまちです。市街地を一步離れた恵庭溪谷は「白扇の滝」や「ラルマナイの滝」などが点在し、観光スポットとして市民主導による花のまちづくりが盛んで「ガーデニングのまち」としても全国的に知られるようになりました。

今大会のテーマである「庭屋一如」は、庭と建物がひとつになった生活空間を表しており、人が自然とともに生きる中で、自然から学び、あるべき姿で存在する「建物(建築)」の考え方です。

「花のまち 恵みの庭」に多くの仲間が集まり、自然との共生を改めて考える中で、これからの建築のあり方やまちづくりへのヒントを見つける機会にしたいと思っております。

どうぞ、全道各支部の皆さん! 恵庭に集い大いに語ろうではありませんか。

是非とも、たくさんのおみなさんのご参加を心よりお待ち申し上げます。

### [大会プログラム]

月 日	時 間	開 催 内 容	会 場
9月20日 (金)	13:00~13:30	青年サミット 受付	黄金ふれあいセンター
	13:30~17:30	青年サミット テーマ:『未来につなげる まちなみづくり』	
	18:30~20:30	懇親会	サッポロビール庭園ヴァルハラ
9月21日 (土)	11:00~12:00	来賓・大会参加者受付開始	恵庭市民会館 1階「大ホールホワイエ」
	12:00~13:00	昼食	恵庭市民会館 3階「中ホール」
	13:00~15:00	A分科会(女性委員会)	2階「視聴覚室」
		B分科会(まちづくり委員会)	3階「中ホール」
		C分科会(青年委員会)	2階「大会議室」
		D分科会(情報委員会)	2階「中会議室」
15:15~16:40	大会式典	恵庭市民会館 1階「大ホール」	
17:00~18:20	基調講演	恵庭市民会館 1階「大ホール」	
18:30~20:30	懇親会	恵庭市民会館 3階「中ホール」	

分科会

**A分科会** 素材～魅力的な庭と外構～恵庭編

女性委員会

恵庭は市をあげて花のあるまちづくりを行っています。雪に閉ざされる期間の長い北海道で、花を楽しむ期間は短いですが、市民は庭づくりやその鑑賞を楽しんでいます。

A分科会では外構材としての北海道の「素材」を取り上げ、採用例や施工方法、維持管理などを学び、建物と調和する庭づくりや外構の手法を考えたいと思います。

**B分科会** 「まち <sup>NiWA</sup>庭.com」

まちづくり委員会

恵庭市は、札幌と新千歳空港のほぼ中間に位置し、交通アクセスの良さから工場などの企業進出が盛んです。近年は愛好家が始めたガーデニングが大きな広がりを見せ、行政の環境緑化への後押しもあって、観光客が全国からガーデニングを見学に訪れる「花のまち」としても知られています。

「花のまちづくり」は市民だけではなく企業にも浸透しており、積極的にまちづくりに取り組む企業も増えています。中でもサッポロビール北海道工場は、恵庭への移転時から庭園による工場緑化や、庭園と一体となった伊東豊雄氏設計のレストランなど、環境への配慮と省エネ、雇用などトータルで取り組みを進める事で産業観光にも一役かっています。

B分科会のテーマにあるcomは、company（会社・企業）のcomであり、community（地域共同体）のそれでもあります。

まちと地域、地域と企業、企業と屋外環境といった構図をサッポロビール北海道工場の見学を通して実感してみたいと思います。まちと企業との関係は・・・さて？

**C分科会** 庭のある生活 — 人と家と庭のより良い関係 —

青年委員会

「住居の周りに樹を植えることは最も大切なことである」

これは平安時代に書かれた日本最古の庭園書「作庭記（さくていき）」の中の言葉です。古来より人々は庭に樹木や草花を植え、それらの植物は人々の生活に彩りを与えてきました。

そして現在、閉鎖的な社会環境を背景に再び「庭」が見直されつつあります。昨今のガーデニングブームは人と自然とを結び合わせるだけでなく、人と人をつなぐ架け橋となっており、またそれぞれの庭は地域のランドスケープの形成という公的な役割も果たし、美しい庭が続く町並は町のシンボルとして皆に愛され親しまれています。

C分科会では、人の暮らす家とそれを囲う庭が形成されて町並みができることを踏まえ、建築士として、日本有数のガーデニングシティ「恵庭」で、今一度「庭」について考えていきます。

**D分科会** カンタン！つながる！34のわ in えにわ ～チャレンジ34支部のネットワーク～

情報委員会

支部の情報発信の現状は、ホームページを開設した支部は13支部ですが、現在も更新されている支部が5支部となっており、継続の難しさを感じています。また、支部便りを発行し「北海道建築士」に同梱しているのは6支部ですが、全道に対する情報発信ではありません。

今年はブロック会を運用していく始まりの年でもあり、各支部間の情報の共有が求められてくるのではないかと思います。その中、「h-ab.net」の支部情報を活用させるにはどうしたら良いのか、ディスカッションできればと思います。

## 基調講演

家と庭で“家庭” 笑顔と会話が満ち溢れる“庭造り”



講師：(株)石原和幸デザイン研究所 代表 石原和幸

庭園デザイナー。22歳で生け花の本流『池坊』に入門。以来、花と緑に魅了され路上販売から店舗、そして庭造りをスタート。その後、苔を使った庭で独自の世界観が国際ガーデニングショーの最高峰である「英国チェルシーフラワーショー」で高く評価され、2006年から異部門で史上初の3年連続金メダルを受賞した。

続いて2010年、2011年とショーガーデン部門で銀メダルを受賞。そして2012年はオリンピックロンドン大会開催の前にアーティザンガーデン部門で金メダルを受賞し、さらに部門内1位に贈られるベストガーデン賞と併せてのW受賞を果たした。

また、日本の玄関口でもある羽田空港（第一ターミナルビル内）に受賞作品「花の楽園」を再現し、日本の風景の美しさをアピール。全国で庭と壁面緑化事業を展開し、環境保護に貢献すべく活躍中。／1958年長崎県生まれ。55歳

## 青年サミット

『未来につなげる まちなみづくり』

### テーマコメント

今大会のメインテーマである「庭屋一如」。

庭と建物が一体となり、調和がとれているさまをいいます。

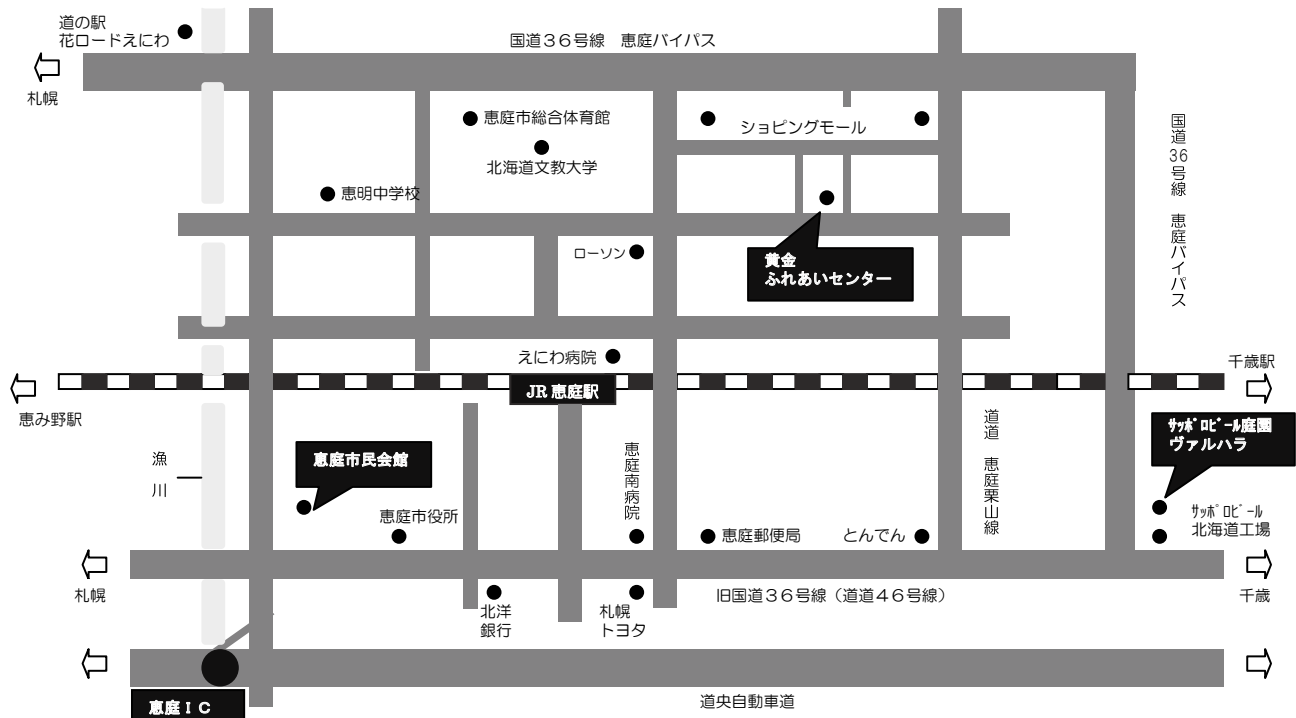
日本には、京都などの「歴史的なまちなみ」があり、パリなどには歴間なく建物が並ぶ、石造りの「ヨーロッパのまちなみ」もあります。これらは、とても美しく未来永劫残していきたいものと、多くの人たちが感じることでしょう。では、最近の私たちの周りのまちなみはどうでしょうか。個々の住戸がデザインを競うあまり、魅力に欠ける住まい・まちづくりをしているように感じてしまうのです。このままではいけない。未来に残せないと思われがちですが、考えるでしょう。

市民主体による花のまちづくりが盛んな恵庭で、市民の声を聴きながら、「庭と建物の関係」を「まちなみと建物」と捉え、未来により良いまちなみを“残し・つなぐ”ために、私たち「青年建築士」が、今何をしなければならないか、皆で話し合い成果を見出す青年サミットにしたいと思います。

### プログラム

13:00 ~ 13:30	■ 受付
13:30 ~ 14:00	■ 挨拶・説明
14:00 ~ 15:30	■ アンケート聴取 (移動込)
15:30 ~ 15:45	■ 休憩
15:45 ~ 16:30	■ ワークショップ
16:30 ~ 17:25	■ 発表
17:25 ~ 17:30	■ 総評
18:30 ~ 20:30	■ 懇親会

## 第38回全道大会（恵庭大会）会場ご案内



黄金ふれあいセンター  
恵庭市黄金南5丁目11番地1  
TEL (0123)32-2081

サッポロビール庭園レストラン“ヴァルハラ”  
恵庭市戸磯541-1 サッポロビール北海道工場内  
TEL (0123)32-2081

恵庭市民会館  
恵庭市新町10番地(市役所隣)  
TEL (0123)33-3171